

大田スタジアム・大田区立大森スポーツセンター・大田区総合体育館の 緊急事態宣言解除後の再開状況について

5月25日に新型コロナウイルス感染症に対する国の緊急事態宣言が解除されたため、スポーツ庁のガイドライン及び東京都のロードマップに準拠して、スポーツ施設を再開した。各施設では、施設の諸室や更衣室等での利用者間の距離を確保し、換気などの密閉、密集、密接を防ぐ対応を実施している。また、利用者には、体調の確認や手指の消毒、マスク等の着用など、感染防止への協力の徹底を図っている。現在の利用の状況を以下の通り報告する。

1 大田スタジアム

- (1) 利用開始日 令和2年6月6日（土）
- (2) 利用状況

開始日の早朝7時の枠から利用され、当日は中学生や社会人が野球の練習として使用した。チームの入れ替え時にも選手同士の動線が錯綜しないように整理したことで、密にならないように工夫した。



練習風景



利用者に向けた注意喚起の
チラシと消毒スプレー

2 大田区立大森スポーツセンター

- (1) 利用開始日 令和2年6月6日（土）
- (2) 利用状況

再開にあたり、窓や扉を開いて換気を十分にした中で、バレーボールやバドミントンなどの競技が実施された。



アリーナでの利用風景



アリーナ入り口の消毒スプレー

- (3) トレーニングルームについては、令和2年6月15日(月)から利用を再開する。利用前に、利用者の健康状態を確認し、室内では、利用者同士の密接を防ぐため、トレーニング機器の間に衝立などを設置し利用いただく。

3 大田区総合体育館

(1) 利用開始日 令和2年6月8日(月)

(2) 利用状況

アリーナや体育室の三密を防ぐため、利用の注意点と利用人数の制限等を設け、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けての利用案内を作成した。主催者には、利用者の健康状態のチェックや利用者同士の接触を避けること等について、協力の徹底を図っている。



総合体育館の入口の利用者に向けた注意喚起と消毒スプレー



利用者間の密を避ける距離の目安